

# G series

## 鋼矢板用ウィープホール

合成樹脂製

軟弱地帯に施設される水路護岸等に、使用される鋼矢板工法は近年利用度が向上していますが、この工法に使用されるウィープホール、またはドレーンパイプは未だ一般的には使用されておらず、背面圧の軽減が図られていないのが現状です。この背後地の水処理を行うことにより、背面圧の軽減が図られ地盤がより一層安定します。背後地の湿潤化減現象による災害の発生を防止するための鋼矢板専用逆流防止弁です。



GS型

### 特長

● 簡単取付 ●

鋼矢板の前面から容易に取付可能

● 構造物の安定化 ●

背後地の水処理で  
背面圧の軽減が図れる

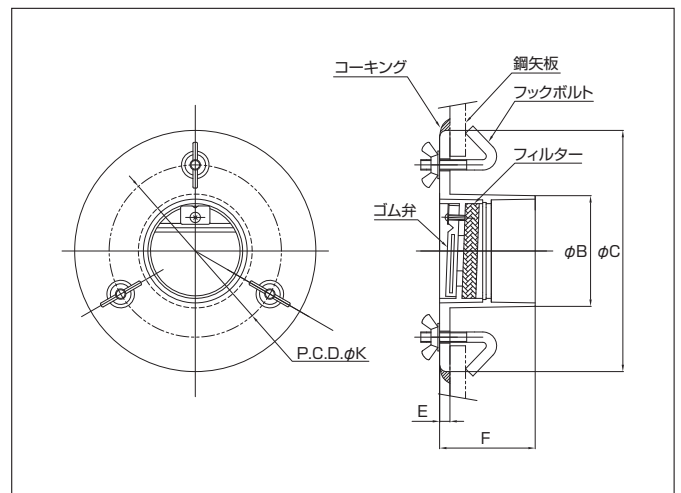
### 仕様

#### GS型 鋼矢板用ウィープホール

(単位：mm)

| 品番     | B   | C   | E  | F   | K   |
|--------|-----|-----|----|-----|-----|
| GS-50  | 64  | 140 | 6  | 55  | 100 |
| GS-75  | 115 | 180 | 40 | 84  | 140 |
| GS-100 | 134 | 225 | 50 | 104 | 170 |

※鋼矢板の削孔寸法は、 $\phi(K+10)$ mmとします。



### 取付方法

- ①設置箇所を決定し、鋼矢板の削孔します。
- ②削孔後に鋼矢板のバリを取り除いて下さい。
- ③本体を挿入後、プレートと鋼矢板が密着するようにしフックボルト頭部の印を外側に向け、蝶ナットを締め付け固定します。
- ④周囲をコーキングして下さい。
- ⑤ソケット内部を清掃後、弁を差し込んで下さい。

